

地域の絆は 防災のかなめ



発行日 / 平成30年9月25日 発行者 / 網代和夫 編集 / あきる野市町内会・自治会連合会 広報部会

女性目線の防災対策を

戸倉地区防災・安心地域委員会

委員長 森 田 晃 夫

去る6月24日(日)に東京都・あきる野市による合同風水害対策訓練が、戸倉しろやまテラスをメイン会場に実施され、あきる野市全体で約700人の参加がありました。

あきる野市においても、土砂災害や風水害の甚大な被害の発生が予想されます。それを踏まえ、土砂災害警戒区域の情報伝達、避難誘導、要支援者支援のための風水害対策訓練が必要不可欠となります。

戸倉地区はメイン会場でもあり、事前にイキキ元気事業などを利用して女性や若い世代にも参加を呼び掛けましたところ、戸倉地区全体で150人の参加があり、内、女性の参加が50%以上となり、当初目標を上回る成果がありました。

今後の防災対策を考えるうえで、全体の訓練内容の充実もさることながら、地域の事情にあった具体的な訓練と女性目線による災害対策や訓練が必要不可欠であることを実感した合同風水害訓練でした。



救助犬救出訓練



土嚢設置訓練



真剣に見つめる住民



ドローンによる物資搬送訓練

余 瀝

未加入者の多くが町内会・自治会に入ってもメリットがないと考えているようです。また、町内会・自治会の役員にも新規に入会する世帯が少ないので、入会すれば目に見えるメリットが何かないか真剣に考えている方が多いようです。果たしてそうでしょうか。入会している、そのこと自体がメリットではないでしょうか。それは町内会・自治会が存在しないことを想像すれば答えは明らかです。例えば、災害が発生した時、避難行動、行政への通報、救助活動等迅速な対応が求められます。地域を熟知し防災訓練を重ねた町内会・自治会があるとないとではまるっきり違います。生活にかかわる街灯・カーブミラーの設置、道路の補修、私道の舗装、除雪等行政への要望の早期の実現には行政と連携している地域の組織が必要です。そのような要望を吸い上げるにも地域に根付いた組織が必須です。地域のこまごまとした問題の解決においても然りです。あるいは、祭りや運動会、盆踊り等地域の行事がなかったら住民のコミュニケーションやふれあい、懇親は難しく、生活に潤いがありません。

メリットはたくさんあります。未加入者の多くは仕事や子育てに忙しい世帯です。町内会・自治会への関心は残念ながら極めて低いと思われます。求められるのは、これらの世帯にいかに関内会・自治会の存在意義を知ってもらうか、どう宣伝し、理解してもらおうかだと思います。それを知らせる方法を探求してゆくことが喫緊の課題です。

花壇コンクール結果

7月17日に審査会が行われ、応募した16花壇の内から次の町内会・自治会の花壇が選ばれました。

▼公園・広場部門

- ・最優秀花壇：富士見台自治会
- ・優秀花壇：油平自治会・雨間町内会
- ・優良花壇：小中野自治会・油平本町内会・平沢町内会



小中野自治会



油平本町町内会



平沢町内会



富士見台自治会



最優秀賞花壇



雨間町内会 優秀花壇



油平自治会 優秀花壇

▼道路部門

- ・最優秀花壇：小宮町内会
- ・優秀花壇：留原自治会
- ・優良花壇：西ヶ谷戸町内会・三内自治会

小宮町内会 最優秀賞花壇



花だんコンクールの審査に参加して
松下康子

早くに梅雨が明け、戻って来た気配も無い一日でした。連日の暑さに花だんの花も傷んでいっものが多いのでは？と思いつながらのスタートとなりました。回って見るといすれの花だんも成育状態の良い事にうれしい驚きです。植える場所に合った花苗を選ぶのはもちろんですが、水やり、花殻摘み、雑草の仕末、そして適度の肥料……。これらの手数をこまめに行うことの大切さを改めて感じさせられた審査となりました。(途中、立合の係の方が話された中にも苦勞の一端が覗いていました)周りの人達を巻き込んで日々の作業に取り組むことの出来た地区が、花だんの色艶を一段と鮮やかに見せてくれたようです。地域の皆さんの花への思いやりに感謝します。これからも長くこの活動が続いて行くことを願っています。ありがとうございました。



留原自治会 優秀花壇



三内自治会

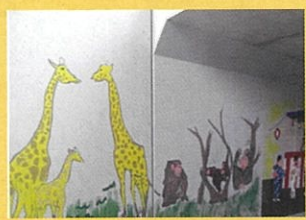


西ヶ谷戸町内会

町内会・自治会への加入促進



8月4日夏祭りにて



絵を描いた壁



落書きされた壁

地域美化の取り組み

牛沼町内会会長 小林次摩朗

牛沼町内会では、落書きの被害を受けていた坂行者専用の市道トンネルの内壁を住民と子どもたち等で、「牛沼の行事と風景」をテーマにペンキで絵を描いた。この取り組みにより、完全に落書きを無くすことはできないが、住民が目を見せられていることをアピールし、犯罪の防止効果につながっている。

VR防災体験車を体験

あきる野市防災・安心地域委員会では、VR防災体験車を秋川消防署へ要請し、6月30日に実現できました。この車両は、地震・火災・風水害について、これまでになく臨場感あふれる災害疑似体験をすることが出来るものです。



編集後記

とにかく楽しんで記事を作らせて頂いている。前号では「字を大きくしたので、初めて読みました」との声も聞かれた。私たちは、先輩方の思いを引き継ぎ、人と人とのつながりの温かさを感じられる会報を目指し、今後も全力で楽しみながら会報作りをして行きたいと考えている。IT時代に入り個人が孤立しがちな今、求められているのは何か？「寝たきり老人にならない秘訣は、社会に役に立つ事」と先日、TVで放映されていた。ご近所とのつながりが益々大切になってきていると感じる。

広報副部長 石原繪理子